

(様式第9)

群大医総2第777号  
平成21年10月 2日

厚生労働大臣 殿

群馬大学医学部附属病院長  
石川

群馬大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	61.5人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	242人	224人	428.4人	看護業務補助	1人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	7	22人	27.8人	理学療法士	8人	臨床検査技師	54人
薬剤師	40人	16人	56.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	1人	0.8人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	19人	0人	19.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	568人	48人	604.3人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	2人	4人	4.4人	栄養士	1人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	2人	事務職員	144人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	42人	その他の職員	6人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	606.1人	11.5人	617.6人
1日当たり平均外来患者数	1,788.9人	77.8人	1,866.7人
1日当たり平均調剤数	14,886.6剤(897.7件)		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癬痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体室素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術(インスリーノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦韌帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーマン病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャーマン病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るもの)に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	9人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	5人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	135人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	48人
・多発性硬化症	97人	・ウェゲナー肉芽腫症	19人
・重症筋無力症	122人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	56人
・全身性エリテマトーデス	319人	・多系統萎縮症	13人
・スモン	114人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人
・再生不良性貧血	53人	・膿疱性乾癬	7人
・サルコイドーシス	198人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・筋萎縮性側索硬化症	88人	・原発性胆汁性肝硬変	20人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	323人	・重症急性膵炎	2人
・特発性血小板減少性紫斑病	111人	・特発性大腿骨頭壊死症	51人
・結節性動脈周囲炎	35人	・混合性結合組織病	27人
・潰瘍性大腸炎	148人	・原発性免疫不全症候群	6人
・大動脈炎症候群	39人	・特発性間質性肺炎	12人
・ビュルガー病	45人	・網膜色素変性症	23人
・天疱瘡	50人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	71人	・原発性肺高血圧症	8人
・クローン病	60人	・神経線維腫症	14人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	16人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・パーキンソン病関連疾患	256人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	3人
・アミロイドーシス	12人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3人
・後縦靭帯骨化症	50人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	5人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。</li> <li>② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</li> </ol>		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に6回程度		
剖検の状況	剖検症例数	35 例	剖検率 10.2 %

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
間脳下垂体機能障害に関する調査研究	森 昌朋	第一内科	900,000	補 厚生労働省
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	森 昌朋	第一内科	1,500,000	補 厚生労働省
摂食抑制ホルモンNesfatin-1の受容体活性化機構の解明と臨床展開	森 昌朋	第一内科	12,480,000	補 文部科学省
摂食抑制ホルモンNesfatin1の脂肪分化抑制機構の解明と肥満治療への応用	岡田 秀一	第一内科	2,990,000	補 文部科学省
内分泌腫瘍発生機構の解明:MLL/menin核内複合体-細胞周期経路からの戦略	山田 正信	第一内科	1,950,000	補 文部科学省
新規摂食抑制蛋白、ネスファチン-1欠損マウスの樹立とその行動学的解析	清水 弘行	第一内科	650,000	補 文部科学省
気管支喘息の診断、治療判定のための簡便な指標としての簡易な気道炎症マーカーの検討-呼気NO測定オフライン法のかかりつけ医での応用の可能性-	石塚 全	第一内科	1,000,000	補 厚生労働省
24時間咽喉食道内pH・インピーダンスモニタリングによる食道咽喉逆流の解析	河村 修	第一内科	1,560,000	補 文部科学省
非アルコール性脂肪性肝炎の病態における核内レセプターPXRとCARのクロストーク	柿崎 暁	第一内科	1,690,000	補 文部科学省
摂食抑制ホルモンNesfatin-1の細胞内シグナル伝達経路の解明	橋本 貢士	第一内科	2,340,000	補 文部科学省
PPARの転写共役因子PDIP1K Oマウスにおける脂質代謝異常の分子病態解析	佐藤 哲郎	第一内科	2,470,000	補 文部科学省
ヒト臍帯血由来培養好塩基球の機能と細胞内シグナル伝達に関する研究	石塚 全	第一内科	1,820,000	補 文部科学省
JNKアイソフォームによる相反するIL-12産生制御:RNA干渉を用いた検討	宇津木 光克	第一内科	2,080,000	補 文部科学省
肝細胞増殖因子トランスジェニックマウスを用いた発癌機序の解析	市川 武	第一内科	1,300,000	補 文部科学省
慢性腎疾患に合併する血管石灰化の分子機構の解明	倉林 正彦	第二内科	13,390,000	補 文部科学省
糖鎖シグナルの異常による肺気腫の発生機構の解明と治療戦略	前野 敏孝	第二内科	3,000,000	補 厚生労働省
NOTCH-FABP経路は心臓毛細血管内皮細胞の脂肪酸能動輸送を制御する	磯 達也	第二内科	1,430,000	補 文部科学省

小計17



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
klotho遺伝子変異マウスを用いた、慢性閉塞性肺疾患の病態解明	須賀 達夫	第二内科	1,560,000	補 文部科学省
骨髄由来単核球細胞の血管平滑筋細胞への分化調節機構の解明と新規治療法開発への応用	富田 智之	第二内科	2,210,000	補 文部科学省
糸球体バリアー機能における新規細胞間情報伝達系SHPS-1-CD47の解析	野島 美久	第三内科	1,950,000	補 文部科学省
CD47-SHPS-1シグナル系を標的とする新規治療法に関する検討	金子 和光	第三内科	2,210,000	補 文部科学省
腎幹細胞システムを利用した腎再生医学の確立	前嶋 明人	第三内科	1,950,000	補 文部科学省
血液透析患者における生体内酸化ストレス発生のメカニズムとその影響について	山本 多恵	第三内科	1,100,000	補 文部科学省
統合失調症と気分障害における意欲症状の脳基盤の解明と改善のためのNIRS研究	福田 正人	精神科神経科	4,420,000	補 文部科学省
こころの健康増進のための脳機能自己モニタリング・システムの確立	福田 正人	精神科神経科	1,400,000	補 文部科学省
アレルギー性疾患の発症・進展・重症化の予防に関する研究	荒川 浩一	小児科	4,000,000	補 厚生労働省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為化比較試験	荒川 浩一	小児科	3,000,000	補 厚生労働省
川崎病治療戦略を意識した血清サイトカインと細胞外蛋白基質代謝の解析	荒川 浩一	小児科	1,040,000	補 文部科学省
アトピー性皮膚炎の発症および悪化因子の同定と発症予防・症状悪化防止のための生活環境整備に関する研究	望月 博之	小児科	2,500,000	補 厚生労働省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為化比較試験	小林 徹	小児科	9,000,000	補 厚生労働省
急性期川崎病患者におけるToll-Like Receptorシグナル伝達の解析	小林 徹	小児科	1,040,000	補 文部科学省
血球貪食症候群における臓器障害メカニズムの細胞レベルでの解明	田村 一志	小児科	2,210,000	補 文部科学省
メントレキセートの神経毒性メカニズムの解明ーグルタミン酸神経細胞毒性との関連性	塚田 昌大	小児科	2,340,000	補 文部科学省
合成糖鎖による抗腫瘍効果の解析ー新規抗がん剤の開発を目指してー	浅尾 高行	第一外科	2,470,000	補 文部科学省
生体肝移植過小グラフト克服に対する先進的探求:自己生体幹細胞由来細胞移植の応用	加藤 広行	第一外科	2,600,000	補 文部科学省
膵臓がんの発生・進展とDNA修復機構異常との関与	鈴木 秀樹	第一外科	1,430,000	補 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
エフェクターCD8T細胞のアポトーシス制御による癌免疫療法への応用	和田 渉	第一外科	2,730,000	補 文部科学省
ヒト悪性腫瘍におけるRho GTPaseの役割-分子生物学的評価と治療への応用-	FARIED,A.	第一外科	1,100,000	補 文部科学省
乳癌におけるオーファン受容体RORによるアロマターゼ遺伝子発現調節機構の解明	堀口 淳	第二外科	1,820,000	補 文部科学省
新規遺伝子変異検索技術SMAP法を用いた肺癌に対する網羅的診断・治療体系の確立	清水 公裕	第二外科	5,460,000	補 文部科学省
乳癌の薬剤耐性機序の解明-核内受容体SXRによるUGT発現の関与-	小田原 宏樹	第二外科	1,300,000	補 文部科学省
乳癌における核内受容体SXRの意義と新たな治療法の開発	六反田 奈和	第二外科	910,000	補 文部科学省
糖鎖シグナルの異常による肺気腫の発生機構の解明と治療戦略	篠崎 哲也	整形外科	800,000	補 厚生労働省
骨肉腫細胞における自己分泌型細胞運動刺激因子と骨形成関連分子の相互作用の解析	柳川 天志	整形外科	2,990,000	補 文部科学省
創傷皮膚科学の樹立による褥瘡の病態解明と診療体系に関する研究	石川 治	皮膚科	1,300,000	補 厚生労働省
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	石川 治	皮膚科	900,000	補 厚生労働省
真皮線維芽細胞から部位特異的に分泌される蛋白の機能解析	安田 正人	皮膚科	2,210,000	補 文部科学省
全ゲノム・ホモザイゴシティ・ハプロタイプ解析による前立腺癌責任遺伝子の解明	鈴木 和浩	泌尿器科	5,200,000	補 文部科学省
前立腺癌の発生・生物学的特性・増殖に関する内分泌学的因子の研究	伊藤 一人	泌尿器科	2,340,000	補 文部科学省
血清前立腺癌特異マーカーproPSAの癌予測因子としての有用性と癌の特性との関係	山本 巧	泌尿器科	1,950,000	補 文部科学省
前立腺癌、腎癌におけるアポトーシス抑制因子サバイビンに関する分子標的治療の研究	小池 秀和	泌尿器科	1,560,000	補 文部科学省
日本人前立腺癌における前立腺癌関連遺伝子座8q24の検討	松井 博	泌尿器科	1,950,000	補 文部科学省
男性ホルモンが膀胱機能に及ぼす影響-血管を中心とした検討	曲 友弘	泌尿器科	1,170,000	補 文部科学省
メバロン酸経路をターゲットとした前立腺癌治療への基礎的研究	野村 昌史	泌尿器科	1,170,000	補 文部科学省
糖尿病網膜症におけるアクチビン-フォリスタチン系の役割	岸 章治	眼科	1,950,000	補 文部科学省
光障害による眼疾患の分子生物学的メカニズム	秋山 英雄	眼科	3,120,000	補 文部科学省
頭頸部癌患者における末梢血中微量癌細胞の同定法の開発と個別化がん治療への応用	古屋 信彦	耳鼻咽喉科	500,000	補 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
前庭機能異常に関する調査研究	高橋 克昌	耳鼻咽喉科	1,000,000	補	厚生労働省
だまされる視覚～3次元視覚刺激による空間識の錯乱～	高橋 克昌	耳鼻咽喉科	3,640,000	補	文部科学省
制御性T細胞を用いた新しいアレルギー性鼻炎の治療に関する基礎的研究	豊田 実	耳鼻咽喉科	650,000	補	文部科学省
がんに対する重粒子線治療の治療方法確立のためのトランスレーショナル研究	中野 隆史	放射線科	7,930,000	補	文部科学省
放射線異感受性腫瘍に対する重粒子マイクロビーム照射・抗癌剤併用に関する基礎研究	高橋 健夫	放射線科	1,300,000	補	文部科学省
シスプラチンの細胞内画像化, 定量化に関する基礎的解析	櫻井 英幸	放射線科	900,000	補	文部科学省
炭素イオン線治療で悪性脳腫瘍を完治させるための基礎的研究	鈴木 義行	放射線科	2,210,000	補	文部科学省
食道癌の治療効果修飾因子の解析と新規治療薬剤の臨床応用に関する基礎的検討	野中 哲生	放射線科	3,250,000	補	文部科学省
放射線照射後の肝障害シグナル伝達機構の解明とHGFによる修飾について	村田 真澄	放射線科	1,170,000	補	文部科学省
低酸素状態にある正常脳細胞・悪性脳腫瘍細胞の放射線感受性の修飾に関する研究	AL-JAHDARI,W.S.	放射線科	1,100,000	補	文部科学省
標識抗体を利用したがん治療	遠藤 啓吾	核医学科	25,600,000	補	文部科学省
新しい放射性薬剤を用いたがん治療:ルテチウム-177(177Lu)標識抗体の開発	遠藤 啓吾	核医学科	1,700,000	補	文部科学省
アミロイドイメージングを用いたアルツハイマー病の発症・進展予測法の実用化に関する多施設大規模臨床研究	織内 昇	核医学科	1,200,000	補	厚生労働省
F-18標識アミノ酸を用いるPET-CTによるがんの治療効果判定法に関する研究	織内 昇	核医学科	1,560,000	補	文部科学省
アミノ酸輸送担体を標的とした肺癌のPET診断および個別的内照射併用治療の研究	樋口 徹也	核医学科	780,000	補	文部科学省
PET-光イメージングのマルチモダリティの有用性に関する基礎的検討	ポーデアル P	核医学科	600,000	補	文部科学省
サイクロトロン製造核種銅-64標識抗体を用いるPET診断、癌治療	PAUDYAL,B.	核医学科	500,000	補	文部科学省
ゴナドトロピン作用と卵成熟のメカニズム解明	峯岸 敬	産科婦人科	8,060,000	補	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
卵巣顆粒膜細胞におけるダイオキシン類のシグナル伝達系路の解明	平川 隆史	産科婦人科	1,300,000	補 文部科学省
栄養因子の双方向性制御による神経再生促進法の開発:新規DDSとsiRNA	齋藤 繁	麻酔科蘇生科	9,490,000	補 文部科学省
先祖帰り制御因子Notch ligand操作による脳虚血後神経再生促進法の開発	齋藤 繁	麻酔科蘇生科	2,100,000	補 文部科学省
蛍光蛋白導入マウスを用いた麻酔薬による抑制シナプス伝達分子調節機構の統合解析	西川 光一	麻酔科蘇生科	8,060,000	補 文部科学省
神経障害性疼痛時の鎮痛薬の薬理的な可塑性-脊髄モノアミンの変動を指標にして-	小幡 英章	麻酔科蘇生科	1,690,000	補 文部科学省
疼痛治療における新しいCT透視ガイド下神経ブロック法の開発と薬物療法の役割	肥塚 史郎	麻酔科蘇生科	910,000	補 文部科学省
なぜ抗血栓薬が痛みに効くのか-MRIで迫る鎮痛機序の解明	荻野 祐一	麻酔科蘇生科	1,950,000	補 文部科学省
ドラッグデリバリーシステムを応用した徐放化局所麻酔薬の作成と慢性疼痛治療への応用	戸部 賢	麻酔科蘇生科	2,080,000	補 文部科学省
Intermedin/Adrenomedullinの循環作用と麻酔薬	黒田 昌孝	麻酔科蘇生科	2,080,000	補 文部科学省
麻酔薬によるシナプス可塑性抑制作用の分子機構:GABA合成酵素変異動物での解析	石関 淳子	麻酔科蘇生科	1,430,000	補 文部科学省
炎症性疼痛および神経因性疼痛における末梢でのセロトニンの役割	中島 邦枝	麻酔科蘇生科	1,040,000	補 文部科学省
臓器特異的シタキシン3欠損マウスを用いたサイトカイン分泌機構の解析とその応用	入内島 伸尚	麻酔科蘇生科	2,860,000	補 文部科学省
痛覚情報伝達における抑制シナプスと脱抑制の関与:遺伝子改変マウスを用いた総合解析	麻生 知寿	麻酔科蘇生科	1,300,000	補 文部科学省
麻酔薬の健忘作用におけるGAD65由来の持続性抑制の役割	金丸 良範	麻酔科蘇生科	1,625,000	補 文部科学省
Naraモデルを用いた細胞移植・徐放化栄養因子による開胸術後痛治療法の開発	関 智子	麻酔科蘇生科	2,470,000	補 文部科学省
神経因性疼痛関連シグナル蛋白の分子イメージング法の開発	山田 真紀子	麻酔科蘇生科	1,170,000	補 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
GABA合成酵素欠損マウスを用いた全身麻酔薬作用の電気生理学的・行動学的解析	久保 和宏	麻酔科蘇生科	900,000	補 文部科学省
PET-CTを用いた代謝に基づく腫瘍診断治療に関する研究ー重粒子線治療への応用ー	宮久保 満之	歯科口腔外科	1,703,000	補 文部科学省
数学モデルを用いた頸動脈狭窄症の治療適応に関する検討	好本 裕平	脳神経外科	1,950,000	補 文部科学省
機能再建外科治療を意図した随意運動神経回路網の回復機序についての研究	平戸 政史	脳神経外科	650,000	補 文部科学省
神経再生医療実現のためのミニプタ穿通枝脳梗塞モデルを用いた基盤的研究	今井 英明	脳神経外科	8,710,000	補 文部科学省
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する研究	岡本 幸市	神経内科	1,000,000	補 厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	岡本 幸市	神経内科	1,000,000	補 厚生労働省
特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究	岡本 幸市	神経内科	700,000	補 厚生労働省
スモンに関する調査研究	岡本 幸市	神経内科	700,000	補 厚生労働省
パーキンソン病と筋萎縮性側索硬化症の病態解明に関する研究	岡本 幸市	神経内科	1,950,000	補 文部科学省
脳幹部ニューロンに発現するシネミンの機能解明	水野 裕司	神経内科	2,600,000	補 文部科学省
神経原線維変化形成におけるシナプス障害とGSK-3βに関する検討	池田 将樹	神経内科	2,210,000	補 文部科学省
個別化医療の実現を目指した新規迅速遺伝子解析技術の臨床応用	村上 正巳	検査部	6,630,000	補 文部科学省
スフィンゴシン1-リン酸受容体とスカベンジャー受容体を介するリポ蛋白質作用	木村 孝穂	検査部	1,950,000	補 文部科学省
敗血症由来の中樞神経障害におけるHMBG-1の関与	門井 雄司	手術部	910,000	補 文部科学省
鎮静薬投与患者末梢血単核球のNF-κB転写活性、サイトカイン産生能の検討	國元 文生	集中治療部	1,170,000	補 文部科学省
Septic shockにおけるVasopressinの役割についての解明	日野原 宏	集中治療部	1,170,000	補 文部科学省
排卵期ヒト卵巣顆粒膜細胞の変化とその機能	岸 裕司	周産母子センター	1,040,000	補 文部科学省
院内がん登録の標準化と普及に関する研究	岡村 信一	医療情報部	700,000	補 厚生労働省
非アルコール性脂肪肝炎における小胞体ストレスの役割	佐藤 賢	光学医療診療部	1,950,000	補 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
冠動脈疾患の新しいバイオマーカーとしてのリポ蛋白中リン脂質バランス変化	桑原 敦志	感染制御部	1,430,000	補	文部科学省
分子生物学的予後因子による子宮頸癌の至適治療法の開発	鹿沼 達哉	腫瘍センター	1,040,000	補	文部科学省
重症川崎病患者に対する免疫グロブリン・ステロイド初期併用投与の効果を検討する前方視的無作為化比較試験	中村 哲也	臨床試験部	10,000,000	補	厚生労働省
血栓塞栓症の発症に関わる遺伝的因子の解明と発症リスクの予測	中村 克徳	薬剤部	1,170,000	補	文部科学省

小計4

合計115

## (様式第11)

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endocrinology 149:2008 40-49	Tyrosine phosphorylation of manc18c regulates platelet-derived growth factor-stimulated glucose transporter 4 translocation in 3T3L1 adip	Umahara M	第一内科
Endocrinology 149:2008 1295-1301	Nesfatine-1 neurons in paraventricular and supraoptic nuclei of the rat hypothalamus coexpress oxytocin and are activated by refeeding	Kohno D	第一内科
Neuroscience 155:2008 174-181	The satiety molecule nesfatine-1 is co-expressed with melanin concentrating hormone in tuberal hypothalamic neurons of the rat	Fort P	第一内科
Respiration	Pioglitazone, a peroxisome proliferator-activated receptor gamma ligand, suppresses bleomycin-induced acute lung injury and fibrosis	須賀 達夫	第二内科
Arterioscler Thromb Vasc Biol	PIAS1 mediates TGFbeta-induced SM alpha-actin gene expression through inhibition of KLF4 function-expression by protein sumovlation	小和瀬 桂子	第二内科
Eur Heart J	A thrombus stuck in the ostium of the coronary artery	中原 健裕	第二内科
Mol Ther	Lentiviral vector-mediated SERCA2 gene transfer protects against heart failure and left ventricular remodeling after myocardial infarction in rats	新井 昌史	第二内科
Eur J Heart Fail	Plasma connective tissue growth factor is a novel potential biomarker of cardiac dysfunction in patients with chronic heart failure	新井 昌史	第二内科
Rheumatology, 47(5):702-7, 2008	Revised Classification of Lupus Nephritis is Valuable in Predicting Renal Outcome with Indication of the Proportion of Glomeruli Affected by Chronic Lesions	Noriyuki Hiramatsu, Takashi Kuroiwa, Yoshihisa Nojima	第三内科
Rheumatology, 47:815- 20, 2008	Expression of Interleukin-19 and Its Receptors in Rheumatoid Arthritis: Potential Role for Synovial Hyperplasia Formation	Noriyuki Sakurai, MD, Takashi Kuroiwa, MD, Yoshihisa Nojima	第三内科
Biochem Biophys Res Commun 37: 561-6, 2008	Resistance to collagen-induced arthritis in SHPS-1 mutant mice	Okuzawa C, Kaneko Y, Nojima Y	第三内科
Clin Pharmacol Ther. 85(5):527-30, 2009	Pro32Thr Polymorphism of Inosine Triphosphate Pyrophosphatase Gene Predicts Efficacy of Low-Dose Azathioprine for Patients With Systemic Lupus Erythematosus	Okada Y, Nakamura K, Nojima Y, Yamamoto K	第三内科
Int J Hematol. 2009 May;89(4):517-22	Low burden of a JAK2-V617F mutated clone in monoclonal haematopoiesis in a Japanese woman with Budd-Chiari syndrome	Toyama K, Karasawa M, Nojima Y, Tsukamoto N	第三内科
AIDS. 2009 Apr 27;27(7):761-9	Broad usage spectrum of G protein-coupled receptors as coreceptors by primary isolates of HIV	Shimizu N, Tanaka A, Nojima Y, Hoshino H	第三内科
Pathol Oncol Res. 2009 Mar 20	Hairy Cell Leukemia-Related Disorders Consistently Show Low CD27 Expression	Hashimoto Y, Tsukamoto N, Nojima Y, Karasawa M	第三内科
Nephrol Dial Transplant. 2009 Feb 2	Fluvastatin prevents podocyte injury in a murine model of HIV-associated nephropathy	Sakurai N, Kuroiwa T, Nojima Y	第三内科
Eur J Haematol. 2009 Mar;82(3):201-7	Clinical significance of regulatory T cells in patients with myelodysplastic syndrome	Hamdi W, Ogawara H, Nojima Y, Murakami H	第三内科
Brain Res. 2009 Feb 3;1252:152-60. Epub 2008 Dec 6. (IF: 2.218)	Subjective feeling of psychological fatigue is related to decreased reactivity in ventrolateral prefrontal cortex	Suda M, Fukuda M, Mikuni M	精神科神経科
Psychophysiology. 2009 Jan;46(1):52-61. Epub 2008 Nov 15	Preattentive dysfunction in major depression: A magnetoencephalography study using auditory mismatch negativity	Takei Y, Kumano S, Mikuni M	精神科神経科

小計19件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neurosci Res. 2009 Jan;63(1):47-51. Epub 2008 Oct 15. (IF: 2.121)	Stimulus intensity dependence of cerebral blood volume changes in left frontal lobe by low-frequency rTMS to right frontal lobe: A near-infrared spectroscopy study	Aoyama Y, Hanaoka N, Mikuni M	精神科神経科
J Neurochem, 2008 Jul;106(2):805-14. (IF: 4.451)	Large-scale analysis of glucocorticoid target genes in rat hypothalamus	Sato H, Horikawa Y, Mikuni M	精神科神経科
J Psychiatr Res, 2008 May;42(6):443-50. (IF: 3.71)	Relationship between age at onset and magnetic resonance image-defined hyperintensities in mood disorders	Takahashi K, Oshima A, Mikuni M	精神科神経科
Neuropathology, 2008 Apr;28(2):143-50. (IF: 1.326)	Changes in density of calcium-binding-protein-immunoreactive GABAergic neurons in prefrontal cortex in schizophrenia and bipolar disorder	Sakai T, Oshima A, Mikuni M	精神科神経科
Cancer Genet Cytogenet. 2008;181(1):67-8	A novel mutation of the SMARCB1 gene in a case of extrarenal malignant rhabdoid tumor : Letter to the editor	Koitabashi M, Kanazawa T, Hirado I	小児科
Am J Respir Cell Mol Biol. 2008;38(6):707-714	Differential Regulation of Eotaxin Expression by Dexamethasone in Normal Human Lung Fibroblasts	Suzuki T, Arakawa H, Morikawa A	小児科
Antioxid Redox Signal. 2008;10(4):821-8	Does leukotriene affect intracellular glutathione redox state in cultured human airway epithelial cells?	Wang J, Mochizuki H, Arakawa H, Morikawa A	小児科
J Paediatr Child Health. 2008;44(3):143-5	Pemphigus vulgaris as a possible cause of protein-losing gastroenteropathy: a case report	Ishige T, Kaneko H, Morikawa A	小児科
Pediatr Surg Int. 2008;24(5):549-53	Left displacement of the mediastinum determines the imbalance in the pulmonary vascular bed and lung volume in children with pectus excavatum	Shimoyama S, Kobayashi T, Morikawa A	小児科
Biochem Biophys Res Commun. 2008;370(3):419-23	A. Neuron-specific recombination by Cre recombinase inserted into the murine tau locus	Muramatsu K, Hashimoto Y, Harada A	小児科
BMC Gastroenterol. 2008;8:11	A. Effects of pectin liquid on gastroesophageal reflux disease in children with cerebral palsy	Miyazawa R, Tomomasa T, Arakawa H, Morikawa A	小児科
Ann Allergy Asthma Immunol. 2008;100(4):308-13	A flow- and pressure-controlled offline method of exhaled nitric oxide measurement in children	Tadaki H, Mochizuki H, Arakawa H, Morikawa A	小児科
Pediatr Blood Cancer. 2008;51(5):662-8	Increased serum monocyte chemoattractant protein-1, macrophage inflammatory protein-1beta, and interleukin-8 concentrations in hemophagocytic lymphohistiocytosis	Tamura K, Kanazawa T, Morikawa A	小児科
Pediatric Asthma, Allergy & Immunology. 2008;21(1):14-23	Relationship between the Serum Leptin Concentration and Bronchial Hyperresponsiveness in Pre-school Children	Mizoguchi F, Mochizuki H, Arakawa H, Morikawa A	小児科
Neonatology. 2008;22;95(4):332-338	Hepatocyte Growth Factor Treatment Improves Alveolarization in a Newborn Murine Model of Bronchopulmonary Dysplasia	Ohki Y, Mayuzumi H, Arakawa H, Morikawa A	小児科
Pediatr Int. 2008;50:636-639	Complications of percutaneously inserted central venous catheters in Japanese neonates	Ohki Y, Yoshizawa Y, Morikawa A	小児科
Molecular Carcinogenesis 2008 Jun;47(6):446-57	Expression of an activated mammalian target of rapamycin in adenocarcinoma of the cervix:a potential biomarker and molecular target therapy	Faried L.S., Faried A, Kuвано H, Minegishi T	第一外科
Am. J. Physiol Heart Circ. Physiol 2008 Jun;294(6):H2785-91. Epub 2008 Apr 25	Statins restore ischemic limb blood flow in diabetic microangiopathy via eNOSNO upregulation but not via PDGF-BB expression	Fuji T, Onimaru M, Kuвано H, Sueishi K	第一外科
Annals of Surgery 2008 Jun;247(6):976-86	Effect of distal subtotal gastrectomy with preservation of the celiac branch of the vagus nerve to gastrointestinal function: an experimental study in conscious dogs	Ando H, Mochiki E, Kuвано H	第一外科



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Res. 2008 May-Jun;28(3B):1821-30. 2008	Nuclear beta-catenin expression at the invasive front and in the vessels predicts liver metastasis in colorectal carcinoma	Suzuki H, Masuda N, Kuвано H	第一外科
Int. Surg. 2008 Mar-Apr;93(2):99-102	Endoscopy-assisted subcutaneous mastectomy and immediate breast reconstruction for breast reconstruction for breast cancer: advantage of the posterior approach	Yamaguchi S, Asao T, Kuвано H	第一外科
Jpn J Clin Oncol. 2008 May;38(5):347-53, 2008	Preoperative diagnosis of lymph node metastases of colorectal cancer by FDG-PETCT	Tsunoda Y, Ito M, Kuвано H, Saito N	第一外科
Oncol Rep. 2008 Oct;20(4):857-62., 2008	The additional value of integrated PETCT over PET in initial lymph node staging of esophageal cancer	Kato H, Kimura H, Kuвано H	第一外科
Neurogastroenterol Motil. 2008 Oct;20(10):1174-84.	Correlation between colonic motility and defecatory disorders after anterior resection of the rectum in canine models	Tabе Y, Mochiki E, Kuвано H	第一外科
Surg Endosc. 2008 Sep;22(9):1997-2002. Epub 2008 Jul 2. 2008	Laparoscopically assisted total gastrectomy with lymph node dissection for upper and middle gastric cancer	Mochiki E, Toyomasu Y, Kuвано H	第一外科
Hepatogastroenterology. 2008 Jul-Aug;55(85):1419-22., 2008	Hepatic arterial infusion combined with oral UFTUZEL systemic chemotherapy for unresectable liver metastasis of colorectal cancer	Tsutsumi S, Yamaguchi S, Kuвано H	第一外科
J Surg Res. 2008 Nov;150(1):131-6., 2008	Role of bile in intestinal motility after massive liver resection in conscious rats	Ma C, Shimura T, Kuвано H	第一外科
Atherosclerosis. 2008 Sep;200(1):51-7. Epub 2008 Feb 6., 2008	VEGF function for upregulation of endogenous PlGF expression during FGF-2-mediated therapeutic angiogenesis	Fujii T, Yonemitsu Y, Kuвано H, Sueishi K.	第一外科
Br J Cancer. 2008 Nov 4;99(9):1468-75., 2008	Expression of carbonic anhydrase 9, a potential intrinsic marker of hypoxia, is associated with poor prognosis in oesophageal squamous cell carcinoma	Tanaka N, Kato H, Kuвано H	第一外科
J Thorac Oncol. 2009 Jan;4(1):5-11., 2009	Activation of MET by gene amplification or by splice mutations deleting the juxtamembrane domain in primary resected lung cancers	Onozato R, Kosaka T, Kuвано H, Mitsudomi T	第一外科
Ann Surg Oncol. 2009 Feb;16(2):506-14., 2008	CD24 expression is a novel prognostic factor in esophageal squamous cell carcinoma	Sano A, Kato H, Kuвано H	第一外科
Hepatogastroenterology. 2008 Nov-Dec;55(88):2228-32., 2008	Laparoscopic partial liver resection for hepatocellular carcinoma in liver cirrhosis	Suzuki H, Shimura T, Kuвано H.	第一外科
Pediatr Int. 2009 Feb;51(1):66-70., 2009	Time-course changes in the liver of biliary atresia patients on magnetic resonance imaging	Takahashi A, Hatakeyama SI, Kuвано H	第一外科
World J Gastroenterol	Direct hemoperfusion with a polymyxin B-immobilized cartridge in intestinal warm ischemia reperfusion	Sato H, Oshima K, Takeyoshi I.	第二外科
World J Gastroenterol	Prognostic significance of BMP and activin membrane-bound inhibitor in colorectal cancer	Togo N, Ohwada S, Takeyoshi I, Akiyama T.	第二外科
J Invest Surg	The effect of direct hemoperfusion with a polymyxin B-immobilized fiber column (DHP-PMX therapy) on pulmonary ischemia-reperfusion injury in a canine model	Oshima K, Akao T, Takeyoshi I.	第二外科
J Surg Res	Endotoxin removal with a polymyxin B-immobilized hemoperfusion cartridge improves cardiopulmonary function after cardiopulmonary bypass	Ohki S, Oshima K, Takeyoshi I, Morishita Y	第二外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gan To Kagaku Ryoho	[Remarkable effect of gemcitabine-oxaliplatin (GEMOX) therapy in a patient with advanced metastatic mucinous cystic neoplasm of the pancreas]	Obayashi K, Ohwada S, Takeyoshi I, Horiuchi R	第二外科
Gan To Kagaku Ryoho	[A phase I study of combination therapy with capecitabine and paclitaxel for patients with inoperable breast cancer or recurrent breast cancer]	Horiguchi J, Koibuchi Y, Takeyoshi I	第二外科
Eur Spine J. 17(6):826-830, 2008	Relationship between the morphology of the atlanto-occipital joint and the radiographic results in patients with atlanto-axial subluxation due to rheumatoid arthritis	飯塚 伯	整形外科
Mol Cell Biochem. 312(1-2): 193-199, 2008	Abnormalities of vertebral formation and Hox expression in congenital kyphoscoliotic rats	関 隆致	整形外科
J Bone Joint Surg Br. 90(3): 324-329, 2008	Spontaneous osteonecrosis of the knee: histopathological differences between early and progressive cases	武田 光宏	整形外科
Clin Exp Metastasis. 25(4):427-435, 2008	Prognostic significance of 18F-FDG uptake in primary osteosarcoma after but not before chemotherapy: a possible association with autocrine motility factorphosphoglucose isomerase expression	佐藤 潤香	整形外科
Rheumatol Int. 28(5): 419-428, 2008	Effect of a modified S-form hip brace, WISH type, for patients with painful osteoarthritis of the hip: a role in daily walking as a hip muscle exercise	佐藤 貴久	整形外科
日本関節病学会誌27(1): 51-56, 2008	関節リウマチに対する人工肘関節置換術(京セラ型ステム付)の術後成績	竹村 達弥	整形外科
関節鏡33(2): 257-261, 2008	変形性関節症を伴った前十字靭帯不全膝に対する前十字靭帯再建術	萩原 敬一	整形外科
肩関節. 32(2): 345-348, 2008	5mm~1cm転位がある上腕骨大結節骨折の手術療法と保存療法の比較	大沢 敏久	整形外科
肩関節. 32(2): 409-412, 2008	無症候性腱板断裂の臨床像	山本 敦史	整形外科
肩関節. 32(3): 687-690, 2008	原テストによる高校野球投手のメディカルチェック - 第2報 -	大沢 敏久	整形外科
肩関節. 32(3): 691-694, 2008	超音波を用いた肩関節外転・外旋時の棘上筋・棘下筋断面増加率の検討	小林 勉	整形外科
肩関節32(2): 365-367, 2008	無症候性腱板断裂の疫学	中島 大輔	整形外科
臨床整形外科・43(10): 1011-1015, 2008	習慣性膝蓋骨脱臼を合併した変形性膝関節症への人工膝関節置換術の工夫	柳澤 真也	整形外科
関東整形災害外科学会雑誌39(2): 72-76, 2008	早期に鼠径部リンパ節転移をきたした臀部骨外性粘液型軟骨肉腫の1例	澁澤 一行	整形外科
関東リウマチ41: 195-200, 2008	Adalimumab投与中に人工膝関節全置換術を施行した一例	清水 雅樹	整形外科
臨床整形外科43(8): 817-820, 2008	橈骨遠位端に生じたサルモネラ骨髄炎の1例	喜多川 孝欽	整形外科
関東膝を語る会誌24: 36-37, 2008	L-K靭帯を用いて補強術を行った膝蓋骨sleeve fractureの1例	富沢 紀信	整形外科
日本整形外科学会雑誌. 10:901-911, 2008	肩こりに関するプロジェクト研究(平成16-18年)	高岸 憲二	整形外科
理学療法. 25(1): 23-26, 2008	上肢に対する最新の整形外科的治療	高岸 憲二	整形外科
関節外科. 27(3): 79-83, 2008	投球動作におけるFDG-PETを用いた肩関節周囲筋代謝の評価	篠崎 哲也	整形外科
Immunol Lett 121(1):52-60, 2008	Essential roles of SHPS-1 in induction of contact hypersensitivity of skin	Motegi S, Okazawa H, Ishikawa O, Matozaki T	皮膚科
Cell Tissue Res 333(2):281-8, 2008	Interleukin-6 counteracts effects of cyclosporin A on extracellular matrix metabolism by human dermal fibroblasts	Abe M, Yokoyama Y, Ishikawa O	皮膚科
J Invest Dermatol 128:728-730, 2008	The Localization of label-retaining cells in mouse nails	Nakamura M, Ishikawa O	皮膚科

雜誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Dermatol 158(6):1273-9, 2008	Detection of human papilloma virus type 56 in Bowen's disease involving the nail matrix	Shimizu A, Tamura A, Ishikawa O, Hoshino H	皮膚科
J Invest Dermatol 128(5):1123-332, 2008	G2A plays proinflammatory roles in human keratinocytes under oxidative stress as a receptor for 9-hydroxyoctadecadienoic acid	Hattori T, Obinata H, Ishikawa O, Izumi T	皮膚科
Am J Pathol 172(3):650-8, 2008	Controlled delivery of T-box21 small interfering RNA ameliorates autoimmune alopecia (alopecia areata) in a C3H/HeJ mouse model	Nakamura M, Jo JI, Ishikawa O	皮膚科
Rheumatology 47(4):454-7, 2008	Mouse model of dermal fibrosis induced by one-time injection of bleomycin-poly(L-lactic acid) microspheres	Shibusawa Y, Negishi I, Ishikawa O	皮膚科
Acta Derm Venereol. 88(6):597-600, 2008	Nephrogenic systemic fibrosis with multiple calcification and osseous metaplasia	Shinmi K, Kishi C, Ishikawa O	皮膚科
J Dermatol. 35(10):671-4., 2008 Oct	Leukemia cutis in a patient with acute monocytic leukemia presenting as unique facial erythema	Hattori T, Amano H, Ishikawa O	皮膚科
Clin Exp Dermatol (accepted) 2008 Nov 24. [Epub ahead of print]	Persistent urticaria characterized by recurrent urticarial erythema with histological features of prominent perivascular eosinophilic infiltration	Amano H, Nagai Y, Ishikawa O	皮膚科
Acta Derm Venereol 88(6):597-600, 2008	Nephrogenic systemic fibrosis with multiple calcification and osseous metaplasia	Nagai Y, Hasegawa M, Ishikawa O	皮膚科
J Dermatol 35(8):525-8, 2008	Transitory pigmented purpuric dermatoses in a young Japanese female	Abe M, Syuto T, Ishikawa O	皮膚科
J Dermatol 35:447-51, 2008	Successful treatment with bosentan for refractory digital ulcers in a patient with systemic lupus erythematosus	Nagai Y, Shimizu A, Ishikawa O	皮膚科
Pediatr Dermatol 25(2):262-264, 2008	First case report of topical tacalcitol for vitiligo repigmentation	Amano H, Abe M, Ishikawa O	皮膚科
The Kitakanto Medical Journal 58(1): 77-70, 2008	Topical tacrolimus therapy for erythematous lesions of dermatomyositis	Syuto T, Shimizu A, Ishikawa O	皮膚科
Dermatology 216(2):159-62, 2008	Multiple skin cysts in nevoid basal cell carcinoma syndrome: a case report and review of the literature	Motegi S, Nagai Y, Ishikawa O	皮膚科
J Dermatol. 35 (1):21-4., 2008	Coincidental association of mycosis fungoides and occupational systemic sclerosis ?	Yasuda M, Amano H, Ishikawa O	皮膚科
Pediatr Dermatol 25(1):60-62, 2008	Hair follicle nevus in a 2-year old	Motegi S, Amano H, Ishikawa O	皮膚科
Eur J Dermatol. 18(6):715-6, 2008	Generalized morphea-like systemic sclerosis : a subtype of diffuse cutaneous systemic sclerosis presenting with unusual cutaneous features	Nagai Y, Igarashi N, Ishikawa O	皮膚科
Eur J Dermatol 18(4):473-474, 2008	Tumoral calcinosis of the ribs and lumbar spine in systemic sclerosis	Nagai Y, Sogabe Y, Ishikawa O	皮膚科
Dermatology 217(2):146-148, 2008	Pyodermatitis-pyostomatitis vegetans associated with ulcerative colitis: Successful treatment with total colectomy and topical tacrolimus	Yasuda M, Amano H, Ishikawa O, Yamaguchi S	皮膚科
Eur J Dermatol 18(3):361-362, 2008	Finger pad tophi	Shimizu A, Tamura A, Ishikawa O	皮膚科
Acta Dermato-Venereol 88(?): 310-311, 2008	Cutaneous necrosis induced by extravasation of arginine monohydrochloride	Amano H, Nagai Y, Ishikawa O	皮膚科
Acta Dermato-Venereol 88(?): 298-9, 2008	A case of widespread livedoid vasculopathy with pain but no systemic symptoms	Okada E, Nagai Y, Ishikawa O	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Dermatol. 18(2):189-90, 2008	Subcutaneous juvenile xanthogranuloma	Hattori T, Takahashi A, Ishikawa O	皮膚科
Eur J Dermatol. 18(2):190-1, 2008	Severe liver dysfunction due to bosentan in a patient with mixed connective tissue disease	Nagai Y, Okada E, Ishikawa O	皮膚科
J Dermatol. 35(4):248-9. (correspondence) 2008	Adult-onset Still's disease complicated by multiple cranial nerve palsy and hypothyroidism	Nagai Y, Hashimoto C, Ishikawa O	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol. 22(11):1392-4, 2008	Disaccharide analysis of skin glycosaminoglycan in lichen myxedematosus	Amano H, Yokoyama Y, Ishikawa O	皮膚科
日皮会誌 118: 2759- 2760, 2008	加齢と皮膚 真皮の老化 線維芽細胞	石川 治	皮膚科
Ophthalmology	Resolution of retinoschisis after vitreous surgery in X-linked retinoschisis	池田 史子	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	Effects of intraocular irrigation with melphalan on rabbit retinas during vitrectomy	下田幸紀	眼科
Am J Ophthalmol	Elongation of photoreceptor outer segment in central serous chorioretinopathy	松本 英孝	眼科
Jpn J Ophthalmol	Imaging of choroidal hemodynamics in eyes with polypoidal choroidal vasculopathy using laser speckle phenomenon	渡辺 五郎	眼科
Am J Ophthalmol	Restored photoreceptor outer segment and visual recovery after macular hole closure	佐野 守彦	眼科
Ophthalmologica	Decreased vitreal hyaluronan levels with aging	板倉 宏高	眼科
眼科臨床紀要	光線力学的療法に伴う脈絡膜循環障害に対するトリアムシロンアセトニドの緩和作用	向井 亮	眼科
眼科臨床紀要	HRAのインドシアニングリーン造影による病的近視の単純型黄斑部出血の検討	松本 英孝	眼科
Acta Oto-Laryngologica	Changes in the characteristics of definite Meniere's disease over time in Japan: a long-term survey by the Peripheral Vestibular Disorder Research Committee of Japan, formerly the Meniere's Disease Research Committee of Japan	Hideo Shojaku, Nobuhiko Furuya	耳鼻咽喉科
Journal of neurophysiology	Clustering of Self-Motion Selectivity and Visual Response Properties in Macaque Area MSTd	Chen A, Gu Y, Takahashi K	耳鼻咽喉科
J. Cell Sci	Trans-endocytosis of CD47 and SHPS-1 and its role in regulation of the CD47-SHPS-1 system	Kusakari S., Murata T	耳鼻咽喉科
Cancer Immunol Immunother	CD4+ T cell responses to HLA-DP5-restricted wild-type sequence p53 peptides in patients with head and neck cancer	Chikamatsu K, Sakakura K, Furuya N	耳鼻咽喉科
Neuropharmacology	Inhibitory effects of the antiepileptic drug ethosuximide on G protein-activated inwardly rectifying K(+) channels	Kobayashi T, Mitsumura K	耳鼻咽喉科
EMBO Rep	Lentivector-mediated rescue from cerebellar ataxia in a mouse model of spinocerebellar ataxia	Torashima T, Mitsumura K	耳鼻咽喉科
Neuropharmacology	Developmental switch in requirement for PKA RIIbeta in NMDA-receptor-dependent synaptic plasticity at Schaffer collateral to CA1 pyramidal cell synapses	Yang Y, Takeuchi K, Zukin RS	耳鼻咽喉科
Phys. Med. Biol	Clinical application of the Fricke-glucomannan gel dosimeter for high-dose-rate 192Ir brachytherapy	Noda S	放射線科
J Radiat Res	Growth Cone Collapse and Neurite Retractions: An Approach to Examine X-irradiation Affects on Neuron Cells	Al-Jahdari WS	放射線科
Cancer Sci	Direct visualization and quantification of the anticancer agent, cis-diamminedichloro-platinum(II), in human lung cancer cells using in-air microparticle-induced X-ray emission analysis	Sakurai H	放射線科
Neuropathology	Proliferation and cell death of human glioblastoma cells after carbon-ion beam exposure: morphologic and morphometric analyses	Oishi T, Nakano T	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Oncol	Results of concomitant chemoradiation for cervical cancer using high dose rate intracavitary brachytherapy:	Sakata K, Sakurai H, Nakano T	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Adverse effects of androgen deprivation therapy on persistent genitourinary complications after carbon ion radiotherapy for prostate cancer	Ishikawa H	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Influence of multiple genetic polymorphisms on genitourinary morbidity after carbon ion radiotherapy for prostate cancer	Suga T, Tsuji H, Noda S	放射線科
Urology	Nomogram ranking as new objective evaluation method in various treatment strategies for patients with prostate cancer with various clinicopathologic backgrounds	Yamamoto T, Ishikawa H, Nakano T	放射線科
J Radiat Res	Comparison of the radiobiological effect of carbon ion beam therapy and conventional radiation therapy on cervical cancer	Suzuki Y	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Phase I Study of Oral S-1 Plus Cisplatin with Concurrent Radiotherapy for Locally Advanced Non-Small-Cell Lung Cancer	Kaira K, Ebara T, Nakano T	放射線科
Magn Reson Imaging	Prediction of early response to radiotherapy of uterine carcinoma with dynamic contrast-enhanced MR imaging using pixel analysis of MR perfusion imaging	Takayama Y, Ohno T	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Accelerated hyperfractionated radiotherapy for cervical cancer: multi-institutional prospective study of forum for nuclear cooperation in Asia among eight Asian countries	Ohno T	放射線科
J Neurooncol	Nuclear survivin expression predicts poorer prognosis in glioblastoma	Shirai K	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	p73 Protein expression correlates with radiation-induced apoptosis in the lack of p53 response to radiation therapy for cervical cancer	Wakatsuki M	放射線科
Brachytherapy	Computed tomography-based dose-volume parameters of the rectum and late rectal complications in patients with cervical carcinoma treated by high-dose-rate intracavitary brachytherapy	Shingo Kato, Tomoaki Tamaki, Tatsuya Ohno	放射線科
Brachytherapy	Radiotherapy doses at special reference points correlate with the outcome of cervical cancer therapy	Yoshimura R, Wakatsuki M, Okazaki A	放射線科
Brachytherapy	Radiotherapy doses at special reference points correlate with the outcome of cervical cancer therapy	Yoshimura R, Wakatsuki M, Okazaki A	放射線科
Radiation Medicine	Evaluation of quality of life and psychological response in cancer patients treated with radiotherapy	Takahashi T	放射線科
Radiation Medicine	Multidetector computed tomography diagnosis of primary and secondary epiploic appendagitis	Osada H, Takahashi T	放射線科
J Comput Assist Tomogr	Primary mediastinal synovial sarcoma: a report of 2 cases	Kaira K, Nonaka T, Ebara T	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Quality of life in men treated with carbon ion therapy for prostate cancer International	Wakatsuki M	放射線科
Int J Gynecol Cancer	Psychological Distress and Quality of Life in Cervical Cancer Survivors after Radiotherapy: Do Treatment Modalities, Disease Stage, and Self-esteem Influence Outcomes?	Kobayashi M, Ohno T	放射線科
日気食会報	日本におけるがんの重粒子線治療の現状	中野 隆史	放射線科
Ann Nucl Med 22:83-86, 2008	Clinicopathological presentation of varying 18F-FDG uptake and expression of glucose transporter 1 and hepatocellular carcinoma and cholangiocellular carcinoma	Paudyal B, Oriuchi N, Endo K	核医学科
Cancer Sci 99:432-440, 2008	Radioimmunotherapy of human synovial sarcoma using a monoclonal antibody against FZD10	Fukukawa C, Hanaoka H, Endo K, Katagiri T	核医学科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Lung Cancer 59:203-210, 2008	Usefulness of FDG-PET for early prediction of the response to gefitinib in non-small cell lung cancer	Sunaga N, Oriuchi, N, Endo K, Mori M	核医学科
Radiology 246:336-338, 2008	Patlak plot analysis for assessment of single-kidney glomerular filtration rate (GFR) with dynamic CT	Tsushima Y, Taketomi-Takahashi A, Endo K	核医学科
Abdom Imaging 33(3):353-356, 2008	Diffusion-weighted magnetic resonance imaging of the body in venous thrombosis:a report of four cases	Nakahashi M, Sato N, Endo K	核医学科
Ann Nucl Med 22:395-401, 2008	Detection of metastatic lesions from malignant pheochromocytoma and paraganglioma with diffusion-weighted magnetic resonance imaging:comparison with 18F-FDG positron emission tomography and 123I-MIBG scintigraphy	Takano A, Oriuchi N, Endo K	核医学科
Ann Nucl Med. 22:543-548, 2008	Variability of lesion detectability and standardized uptake value according to the acquisition procedure and reconstruction among five PET scanners	Takahashi Y, Oriuchi N, Endo K, Murase K	核医学科
Pathology-Research and Practice 204:553-561, 2008	Expression of L-type amino acid transporter 1 (LAT1) in neuroendocrine tumors of the lung	Kaira K, Oriuchi N, Mori M	核医学科
Acta Derm Venereol 88:597-600, 2008	Nephrogenic systemic fibrosis with multiple calcification and osseous metaplasia	Nagai Y, Hasegawa M, Endo K, Ishikawa O	核医学科
Oncol. Rep. 20:857-862, 2008	The additional value of integrated PETCT over PET in initial lymph node staging of esophageal cancer	Kato H, Kimura H, Endo K, Kuwano H	核医学科
Int J Oncol 33:1047-1054, 2008	Clinical implication of glucose transport and metabolism evaluated by 18F-FDG PET in hepatocellular carcinoma	Paudyal B, Paudyal P, Endo K	核医学科
J Comput Assist Tomogr. 32:559-61, 2008	Characteristic of computed tomography and magnetic resonance imaging finding of thrombosed varices of the round ligament of the uterus: a case report	Tokue H, Aoki J, Endo K	核医学科
Radiology 247:915-916, 2008	Nephrogenic systemic fibrosis in Japan: advisability of keeping the administered dose as low as possible	Tsushima Y, Takahashi-Taketomi A, Endo K	核医学科
Cardiovasc Intervent Radiol. 31:219-221, 2008	Air embolism detected during computed tomography fluoroscopically guided transthoracic needle biopsy	Hirasawa S, Hirasawa H, Endo K	核医学科
J Magn Reson Imaging 29:112-117, 2009	Diagnostic utility of diffusion-weighted MR imaging and apparent diffusion coefficient value for the diagnosis of adrenal tumors	Tsushima Y, Takahashi-Taketomi A, Endo K	核医学科
Genes Cells, 2009. 14(3): 295-308	SAP-1 is a microvillus-specific protein tyrosine phosphatase that modulates intestinal tumorigenesis	Sadakata, H	産科婦人科
Endocrinology, 2008. 149(4): 1524-1533	Effect of Estrogen on the Expression of Luteinizing Hormone-Human Chorionic Gonadotropin Receptor Messenger Ribonucleic Acid in Cultured Rat Granulosa Cells	Ikeda, S	産科婦人科
J Radiat Res (Tokyo) 49:481-9	Growth cone collapse and neurite retractions: an approach to examine X-irradiation affects on neuron cells	Al-Jahdari WS, Suzuki Y, Saito S, Nakano T	麻酔科蘇生科
Anesthesiology 109:1077-84	Gabapentin acts within the locus coeruleus to alleviate neuropathic pain	Hayashida, Obata H, Eisenach IC	麻酔科蘇生科
J Anesth 22:429-34	Evaluation of cerebrovascular carbon dioxide reactivity in patients with diabetes mellitus under sedative doses of propofol	Kawauchi C, Kadoi Y, Saito S	麻酔科蘇生科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Anesth 22:135-9	The comparative effects of sevoflurane versus isoflurane on cerebrovascular carbon dioxide reactivity in patients with previous stroke	Kadoi Y, Saito S, Takahashi K	麻酔科蘇生科
Acta Anaesthesiol. Scand 52:664-72	Effects of the cannabinoid antagonist AM281 on systemic hemodynamics and mortality rate in streptozotocin- induced diabetic rats with endotoxic shock - Comparison between non-diabetic and diabetic rats	Kadoi Y, Hinohara H, Saito S	麻酔科蘇生科
Br. J Anesth. 100:224-9	Comparative effects of propofol versus dexmedetomidine on cerebrovascular carbon dioxide reactivity in patients with septic shock	Kadoi Y, Saito S, Kunimoto F	麻酔科蘇生科
J Pharmacol Exp Ther 329:592-9	Altered responses to propofol, but not ketamine, in mice deficient in the 65-kilodalton isoform of glutamate decarboxylase	Kubo K, Nishikawa K, Saito S	麻酔科蘇生科
Eur J Anesthesiol 13:1-6	The effects of isoflurane on adrenomedullin-induced hemodynamic responses in pithed rats	Kuroda M, Yoshikawa D, Saito S, Goto F	麻酔科蘇生科
Eur J Pain 13:441-7	The nociceptive mechanism of 5-hydroxytryptamine released into the peripheral tissue in acute inflammatory pain in rats	Nakajima K, Obata H, Saito S	麻酔科蘇生科
Int Heart J 49:713-21	The effect of a temporary inferior vena cava filter in the treatment of deep vein thrombosis in critically-ill patients	Oshima K, Kunimoto F, Saito S	麻酔科蘇生科
Am J Emerg Med. 26:981-984	Oxygen inhalation using an oxygen concentrator in a low-pressure environment outside of a hospital	Sakaue H, Suto T, Saito S	麻酔科蘇生科
Eur J Neurosci 29:518-28	Actions of propofol on substantia gelatinosa neurons in rat spinal cord revealed by in vitro and in vivo patch-clamp recordings	Takazawa T, Furue H, Yoshimura M	麻酔科蘇生科
PAIN RESEARCH 23:35-44	Spinal cord stimulation therapy for localized central pain	Hirato, M., Takahashi, A., Yoshimoto, Y	脳神経外科
Stroke 39:205-212	Experimental model of lacunar infarction in the gyrencephalic brain of the miniature pig Neurological assessment and histological, immunohistochemical, and physiological evaluation of dynamic corticospinal tract deformation	Tanaka, Y., Imai, H., Yoshimoto, Y. Saito, N	脳神経外科
AJNR 29:1164-1170	Diffuse pachymeningeal hyperintensity and subdural effusion/Hematoma detected by fluid-attenuated inversion recovery MR imaging in patients with spontaneous intracranial hypotension	Tosaka, M., Sato, N., Yoshimoto, Y	脳神経外科
Neurologia medico-chirurgica 48:355-358	Acute basilar artery occlusion in a patient with left subclavian artery occlusion due to first rib anomaly	Yamaguchi, R., Kohga, H., Yochimoto, Y	脳神経外科
ICUとCCU 32 771-775	硬膜下血腫を機に先天性胆道閉鎖症が発見された小児の1例	伊部 洋子 金丸 良範 好本 裕平 高橋 篤	脳神経外科
脳神経外科 36:703-707	腫瘍内出血を来した大孔髄膜腫の1例	鹿見島 海衛 今井 英明 好本 裕平	脳神経外科
機能的脳神経外科 47:123-129	Parkinson病視床下核刺激術において刺激電極留置部位が長期効果に及ぼす影響	平戸 政史 渡辺 克成 好本 裕平	脳神経外科
Haematologica. 2008 Oct;93(10):1555-9	PRCA Collaborative Study Group. Long-term responses and outcomes following immunosuppressive therapy in large granular lymphocyte leukemia-associated pure red cell aplasia: a Nationwide Cohort Study in Japan for the PRCA Collaborative Study Group	Fujishima N, Sawada K, Karasawa M, Ozawa K	輸血部
Leukemia. 2008 Oct;22(10):1874-81	Japanese Cooperative Study Group for Intractable Bone Marrow Diseases. Myelodysplastic syndrome with chromosome 5 abnormalities: a nationwide survey in Japan	Tasaka T, Tohyama K, Karasawa M, Ozawa K	輸血部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Heart J. 2008 Nov;49(6):713-21	The effect of a temporary inferior vena cava filter in the treatment of deep vein thrombosis in critically-ill patients	Oshima K	集中治療部
J Anesth. 2008;22(4):429-34. Epub 2008 Nov 15	Evaluation of cerebrovascular carbon dioxide reactivity in patients with diabetes mellitus under sedative doses of propofol	Kawauchi C	集中治療部
Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2008 Oct;14(5):283-8	Evaluation of respiratory status in patients after thoracic esophagectomy using PiCCO system	Oshima K	集中治療部
Hepatogastroenterology. 2008 Jul- Aug;55(85):1338-41	The evaluation of hemodynamics in post thoracic esophagectomy patients	Oshima K	集中治療部
Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2008 Apr;14(2):75- 80	Fulminant myocarditis treated with percutaneous cardiopulmonary support system (PCPS)	Oshima K	集中治療部
J Invest Surg 2008 May- Jun; 21(3): 127-132	The effect of endotoxin removal with a polymyxin B-immobilized hemoperfusion cartridge in pulmonary warm ischemia-reperfusion injury in a canine model	Oshima K	集中治療部
J Clin Gastroenterol	Kyphosis, not With Obesity, in Elderly Japanese Women	Motoyasu Kusano	光学医療診療部
Journal of gastroenterology	Nationwide epidemiological study on gastroesophageal reflux disease and sleep disorders in the Japanese population	Motoyasu Kusano	光学医療診療部
日本呼吸ケア・リハビリ テーション学会誌 第18 巻第1号	地域で育むCOPDマネジメント—疾病管理体制の 確立へ向けた地域連携パスの活用—	堀江 健夫 滝瀬 淳 白倉 賢二 土橋 邦生	リハビリテーション部
治療(J.Therap.), Vol.90,	COPDの地域連携における臨床パスの作成と 実践	堀江 健夫 岩崎 靖樹 白倉 賢二	リハビリテーション部

小計10件

合計193件



(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長：石川 治
管理担当者氏名	総務課長：福田 美則 医療サービス課長：小出 利一

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療サービス課 医療情報部	一患者一カルテ方式により管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
	高度の医療の提供の実績	医療サービス課
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医療サービス課
	高度の医療の研修の実績	総務課
	閲覧実績	総務課
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部
確規保則の第9条の2及び第1条の1各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療サービス課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療サービス課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療サービス課
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療サービス課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療サービス課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	材料部 放射線部 医療サービス課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	材料部 放射線部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	材料部 放射線部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長：石川 治
閲覧担当者氏名	総務課長：福田 美則
閲覧の求めに応じる場所	病院会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	1 件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	1 件
	地方公共団体	延	0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	79.9 %	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠 A：紹介患者の数			15,523人
B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数			14,688人
C：救急用自動車によって搬入された患者の数			968人
D：初診の患者の数			24,328人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 3名 ) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 6名 ) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 ( 3 ) 名 兼任 ( 4 ) 名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故発生時の即時対応</li> <li>・ インシデント・アクシデント報告書の即時調査、分析、管理</li> <li>・ 医療安全管理委員会、医療事故防止専門委員会、医療事故調査専門委員会、リスクマネージャー会議に関すること</li> </ul> </li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当院における安全管理の基本的考え方：安全文化の育成</li> <li>・ 医療安全を推進するための委員会等の設置</li> <li>・ 職員に対する研修の基本方針</li> <li>・ 事故報告などの医療に関わる安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li> <li>・ 事故発生時の対応に関する基本方針</li> <li>・ 情報の共有に関する基本方針 (当該指針の閲覧に関する基本方針)</li> <li>・ 患者相談への対応に関する基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療業務安全管理委員会 (年11回)：医療事故防止専門委員会からのインシデント報告書の分析結果等の報告を受け、分析結果や改善指摘事項等について協議するとともに、その改善事項等の決定及び各診療科等への改善命令等の決定を行う。</li> <li>・ 医療事故防止専門委員会 (年12回)：具体的なインシデント・アクシデント報告書の内容分析を行い、改善事項等について審議し、その結果を上部委員会へ報告するとともに、決定された改善事項についてやテーマを設けての病棟等巡視点検を行う。</li> </ul> </li> </ul>	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：全体研修「感染対策講演会」(2回)、「医療安全職員研修」(3回)、「児童虐待予防講演会」「DV被害者対応講演会」「新CVC体制説明会」(3回)、「救命救急講習」(6回)を実施。 新入職者研修として、前後期に「麻薬管理」、「循環作動薬使用上の注意」など各5テーマを実施。</li> </ul>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有 ・ 無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各診療科、病棟等にリスクマネージャー85名を配置</li> <li>・ 安全DVD貸出、月間強化テーマを設け医療事故防止専門委員による巡視</li> <li>・ 医療安全情報の閲覧確認簿の設置</li> </ul> </li> </ul>	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>・ 感染対策委員会及び感染制御部</li> <li>・ 職員研修</li> <li>・ 病院感染発生時の対応</li> <li>・ 病院感染対策マニュアル</li> <li>・ 患者への情報提供と説明</li> <li>・ その他の病院感染対策の方針</li> </ul> </li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染対策の実施及び指導</li> <li>・ 感染対策に関する必要事項の検討</li> <li>・ 感染症の情報収集、整理、解析及び対策</li> <li>・ 感染症の解析結果の迅速な情報提供</li> <li>・ 感染症の継続的観察及び対策実施後の評価</li> <li>・ 感染症に関する啓発、講習、教育</li> <li>・ 感染防止のためのガイドライン及びマニュアルの整備</li> </ul> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新採用職員研修(オリエンテーション)「検査部と感染予防対策について」</li> <li>・ 全体研修 感染対策講演会「医療機能評価とICT活動」</li> <li>・ 全体研修 感染対策講演会「新型インフルエンザ対策について」</li> </ul> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( (有)・無 )</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月の感染対策委員会、感染制御部運営委員会合同委員会の開始前にテーマを決めて委員による院内の視察を行い、評価、改善指導を行っている。</li> <li>・ 長期使用抗菌薬の定期的調査を行っている。</li> </ul> </li> </ul>	



医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年25回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：研修の主な内容：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸液・シリンジポンプの取扱いについて</li> <li>・ 人工呼吸器の取扱いについて</li> <li>・ 装置ごとのマニュアルの周知</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の策定 (有 無)</li> <li>・ 保守点検の主な内容：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日の始業・終業時点検</li> <li>・ 定期的（2回/年）な、メーカーによる点検</li> <li>・ 法令で定められている7品目及び輸液・シリンジポンプ、フットポンプ等の清掃、校正と消耗品の交換</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡易的な取扱説明書を作成し、医療機器本体に取り付けている。</li> <li>・ MEが病棟に行き、輸液・シリンジポンプとフットポンプの動作確認等を実施</li> <li>・ 電話回線によるメンテナンスの報告</li> <li>・ 毎日の始業・終業点検</li> </ul> </li> </ul>	